

赤十字活動資金 ご協力方法

1 郵便局・ゆうちょ銀行 からお振込み

口座番号 01730-0-124794

振込先 日本赤十字社大分県支部

窓口手続きなら、振込手数料は無料。
※ATMの場合は、手数料がかかることがあります。



2 大分銀行 からお振込み

BANK

大分銀行ソーリン支店

口座番号(普通) 0728331

振込先 日本赤十字社大分県支部 支部長 佐藤 樹一郎

※大分銀行の窓口でのお手続きに限り、振込手数料が免除になる振込用紙をご用意していますので、大分県支部までお電話ください。



3 クレジットカード・ PayPay からご協力

クレジットカード・PayPayで
ご寄付いただけます。

お申し込みはこちらから▶



4 自動引き落とし (口座振替)

毎月/年1回など、ご希望の頻度と
額で定期的にご寄付いただけます。
申込用紙をお送りしますので、大分
県支部までお電話ください。

5 現金 による受付

大分県支部または、お住まい
の市町村の赤十字窓口で
ご寄付を受け付けています。



赤十字へのご寄付には
「税制上の優遇措置」や
「表彰制度」がございます

「税制上の優遇措置」
について詳しくはこちら▶

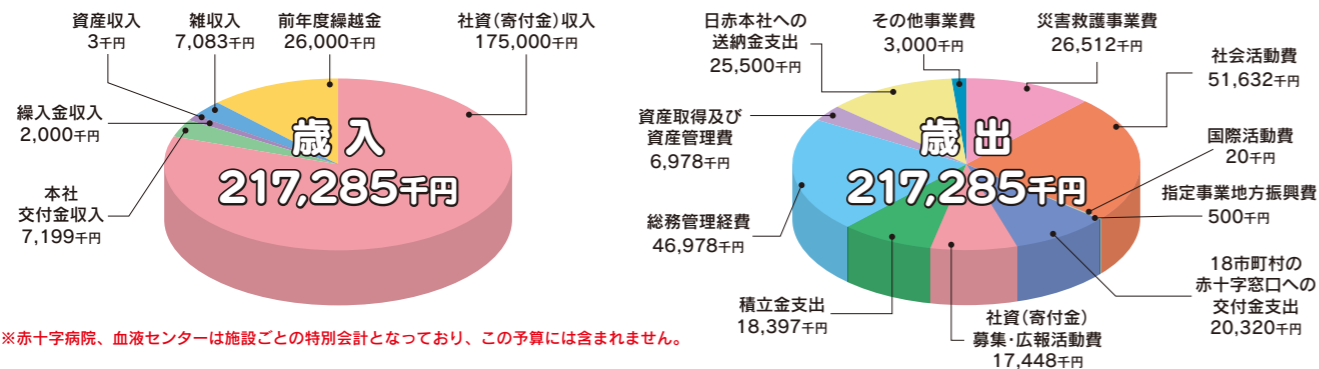


「表彰制度」
について詳しくはこちら▶



赤十字の活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金(寄付)によって支えられています。

令和8年度一般会計収支予算



支援型自動販売機 協力企業・団体を募集中

従業員の皆様やお客様など、広く目に触れる場所に赤十字マークのついた自動販売機を設置し、収益の一部を活動資金として寄付いただけます。
自動販売機の設置・管理、売上金の回収、赤十字への振込などの手続きは、設置業者が担当いたしますので、ご負担は自動販売機の電気代のみとなります。



日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

〒870-0033 大分市千代町2丁目3番31号
TEL(097)534-2236 FAX(097)533-6795

日赤大分 検索

「日赤おいた」のバックナンバーは、
ホームページからご覧いただけます。

大分赤十字病院
〒870-0033
大分市千代町3丁目2-37
TEL(097)532-6181
FAX(097)533-1207

大分県赤十字血液センター
〒870-0889
大分市大字荏隈717-5
TEL(097)547-1151
FAX(097)547-1141

献血ルーム・わったん
〒870-1198 大分市大字玉沢字楠本755番地の1
「トキハわさだタウン」3街区2階
TEL(097)574-6822
FAX(097)542-5777
予約専用フリーダイヤル
0120-489-150

日赤おいた No.70

想いの力を、
救う力に。



災害や紛争、貧困や感染症で
傷つき苦しんでいる人をなんとしても救いたい。
私たちが動かしているのは、
この強い想いなんだ。
あなたの想いを赤十字と一緒に、
救う力に変えませんか。

赤十字は、
動いてる!
with You

そうだったのか!! 赤十字活動資金の使い道

皆さまからのご寄付は、ここでご紹介する「災害救護活動」をはじめ、苦しむ人を救う様々な活動に大切にに使わせていただいています。



ありがとうございます!



1 2



日本赤十字社
ご寄付が届きます

災害時に迅速に対応するため、災害救護訓練、資機材の整備、ボランティア育成等を行っています。



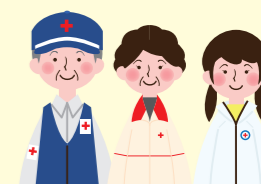
災害救護訓練

被災地で迅速に医療救護活動を展開するため様々な災害を想定した訓練を実施。



ボランティア育成

災害時はもちろん、日頃から地域・学校で活躍するボランティアを育成します。



日頃やっていないことは、いざという時にできない。

皆さまからのご寄付 (赤十字活動資金)

少しでも体を休めていただくために。



救援物資の配布



被災地での活動

4



被災地へ出発



すばやく! 正確に!

医療救護班や救援物資は、陸、海、空、様々な手段で被災地へ

準備完了!



ボランティアと共に必要な物資を準備

3 災害発生

日本赤十字社が総力をあげて対応

■主な救援物資



緊急セット



安眠セット



毛布



全国の赤十字が連携し、被災地に向けて職員を派遣する準備をします。

被災地で行う活動 1



医療救護

被災地の医療ニーズに合わせ、救護所の設置や巡回診療を行います。

被災地で行う活動 2



こころのケア

災害はこころにも大きな傷を残します。少しでもこころが休まるよう寄り添います。

被災地で行う活動 3



血液製剤の供給

全国の血液センターが連携し、災害時も必要な血液を安定的に供給します。

地域防災力の向上

地域の自助・共助の力を高めるため、いのちを守る知識と技術を伝えるセミナーを実施しています。



5 未来へつなげる

過去の災害救護で培った経験を忘れず、未来へつないでいきます。

きげんはっけん!



なんでもおしやて下さい。

糸継系統で救うことが大切!

今後、発生が予想される大規模災害に備えるためにも...

赤十字活動資金にあたたかいご協力をお願いします

子どもたちへの防災教育

未来を担う子どもたちへ、自然災害の正しい知識と、自ら考え生き抜く力を。

